

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	チャイルドウィッシュ五郎丸				公表日	2026年2月12日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	場所分け、活動分けをしながらそれぞれの安心安全や権利が守られるよう工夫しています。	パニック時対応で部屋数やスペースが足りないことがあるため整備を行います。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	日ごとの利用者数や顔ぶれ、スタッフの能力によって保護者様と相談しながら調整を行っています。	急な人員不足に対応できないため利用者様の母数を抑える必要があります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	可能な限りニーズに応えられるよう整備しています。	よりよい環境を提供するため試行錯誤を重ねます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	計画的に清掃と補修を行っています。	よりよい環境を提供するため試行錯誤を重ねます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	シミュレーションを行い迷いなく誘導できるようにしています。	よりよい環境を提供するため試行錯誤を重ねます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	全体と個人で行っています。	本人の人生計画も含め安定した業務継続ができるよう話し合いの機会を重ねていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	全員で行っています。	より効果的に改善できるよう試行錯誤を重ねていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	全員で行っています。	頻度と質を向上していきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	行えていません。	公機関と連携しながら可能性を検討します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	可能な限り行えています。	研修数が多く、業務や支援が圧迫されることがあるため順番で研修受講するなどやり方を工夫する必要があります。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	スタッフ間で共有しながら支援に活かしています。	計画と実際の支援に大きな差異がないよう保護者様と連携を進めていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	行っています。	アセスメント以外の日々の情報共有を行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	行っています。	正規、非正規に関わらず知識や理解が深まり効果的な支援が出来るよう連携を密にしていきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	行っています。	正規、非正規に関わらず知識や理解が深まり効果的な支援が出来るよう連携を密にしていきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	行っています。	正規、非正規に関わらず知識や理解が深まり効果的な支援が出来るよう連携を密にしていきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	行っています。	保護者の方と相談しながら必要な支援が漏れなく行えるよう計画していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	行っています。	正規、非正規に関わらず知識や理解が深まり効果的な支援が出来るよう連携を密にしていきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	行っています。	正規、非正規に関わらず知識や理解が深まり効果的な支援が出来るよう連携を密にしていきます。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	行っています。	正規、非正規に関わらず知識や理解が深まり効果的な支援が出来るよう連携を密にしています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	行っています。	正規、非正規に関わらず知識や理解が深まり効果的な支援が出来るよう連携を密にしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	ほぼ行えています。	当日行えない時は翌日に情報共有と対策を話し合っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	行っています。	小さな気づきも記録に残し支援に繋げていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	行っています。	支援の成果と保護者さまのニーズに差異が生まれないよう注意しています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	0	行っています。	4つの基本活動が1日の利用の中でバランスよく行えるよう注意して支援します。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	行っています。	本人のニーズとご家族のニーズ、事業所が提供できる支援をすりあわせながら行っています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	行っています。	可能な限り一番の理解者が参加できるよう配慮します。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	可能な限り行っています。	必要な時に必要な行動が取れるよう検討を重ねています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	行っています。	利用確定後に送迎変更があった際は特に注意して対応していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	行っています。	情報共有はできる限りしていますが相互理解まで到達できるよう行動を増やしていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2	ほとんど行えていません。	先方からの要請に応じる形になっているのでこちらから行動する機会も作っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1	可能な限り行っています。	選択肢の一つとして検討、行動していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	可能な限り行っています。	主に公園や児童館などに行き交流する機会を作っています。ただし曜日と時間帯が偏っているため機会の公平性を保証することが難しく感じています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1	行っています。	現在は参加メンバーが少ないですが、以前のように複数人で参加できるよう配慮します。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	行っています。	先方からではなくこちらからお声をかける機会を増やしていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	行っています。	必要な頻度と量で行っていますが「今からペアレントトレーニングを行います」などわかりやすい周知が必要だと感じます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	行っています。	現在だけでなく未来に起こりうる事柄についても伝えていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	行っています。	家族のニーズと子供のニーズをうまく合わせるよう配慮しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	行っています。	事前に中心となるニーズの確認を行いスムーズに説明ができるよう配慮しています。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	行っています。	タイミングと頻度を見直しながら内容を改善していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	1	可能な限り行っています。	タイミングと頻度を見直しながら開催に仕方を改善していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	行っています。	必要な時に必要な支援ができるよう頻度と内容を見直していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1	可能な限り行っています。	必要な時に必要な情報提供ができるよう頻度と内容を見直していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	行っています。	特に口頭で意図せず情報が流出しないよう注意しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	行っています。	情報伝達の方法についてスタッフ間で認識を共有したうえで保護者さまに伝えるように配慮しています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	行えていません。	自分達から参加することはあっても地域の方々から来ていただく機会はつくることができていません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	行っています。	計画、訓練ともに取り組んでいますが実施した際の周知活動が足りていないと感じます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	行っています。	計画、訓練ともに取り組んでいますが実施した際の周知活動が足りていないと感じます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	行っています。	新しい情報も見落としなく把握できるよう注意します。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	行っています。	各利用者さんの情報に応じて適切な対応がとれるよう注意しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	行っています。	計画、訓練ともに取り組んでいますが実施した際の周知活動が足りていないと感じます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	行っています。	計画、訓練ともに取り組んでいますが今以上に認知していただけるよう周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	行っています。	個人から全体まで情報共有と対処策について日々改善していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	行っています。	研修の機会が増えたので可能な限り非正規のスタッフにも受けて頂いています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	行っています。	研修の結果も踏まえ拘束の条件を説明しています。	

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 チャイルドウィッシュ五郎丸

公表日 2026年2月12日

利用児童数

9人

回収数 9件中7件 77.8%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7					今後もよりよい環境が提供できるよう努力していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	1				時間帯や曜日に関わらず安定した利用と支援が受けられるよう求人と適切な配置に努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7					今後もよりよい環境が提供できるよう努力していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7					今後もよりよい環境が提供できるよう努力していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7					今後もよりよい支援が提供できるよう努力していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	1				細かいニーズに合致した支援ができるよう支援の在り方を再考します。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					今後もよりよい支援が提供できるよう努力していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7					今後もよりよいサービスが提供できるよう努力していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					今後もよりよい支援が提供できるよう努力していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7					今後もよりよい支援が提供できるよう努力していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	4	2			時間帯や曜日に関わらず参加機会が得られるよう、スタッフ数や社用車の数などが充足するよう努力します。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	1				ご期待されたサービスを条件や制限なく受けられるようスタッフ数などの充足に努めます。また起こりうる事柄について事前説明を細かく行います。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					今後もよりよいサービスが提供できるよう努力していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	1			各保護者様が求められている家族支援を提供できるよう今以上に機会と種類を増やして対応します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	6	1				各保護者様が求められている情報が求められるタイミングで提供できるよう頻度と方法を変えて対応します。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	1				各保護者様が求められている面談や助言を提供できるよう今以上に機会と種類を増やして対応します。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7					今後もよりよい支援が提供できるよう努力していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6		1			今以上に各保護者様が参加しやすい曜日や時間帯を設定するなど参加しやすい方法を増やしていきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7					今後もよりよいサービスが提供できるよう努力していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7					今後もよりよいサービスが提供できるよう努力していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6		1			各保護者様が求められている情報をより多く発信できるよう頻度と方法を変えて対応します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					今後もよりよいサービスが提供できるよう努力していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7					今後もよりよいサービスが提供できるよう努力していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6		1			必ず保護者様に伝わるよう実施した際の周知方法を見直します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7					今後もよりよいサービスが提供できるよう努力していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7					今後もよりよいサービスが提供できるよう努力していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7					今後もよりよい支援が提供できるよう努力していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7				月に1回の利用ですが、平日とは違った雰囲気を感じて楽しく通えています。職員さんが温かく声をかけていただきありがとうございます。	今後も利用者様保護者様によりよい支援とサービスが提供できるよう努力していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7				いつも相談に乗っていただき、大変感謝しています。頼りにしています。子どもの成長と一緒に喜んでくれて、性格や体調を考えながら、子どもに合った関わりをしてくださりありがとうございます。今後もよろしくお願いします。	今後も利用者様保護者様によりよい支援とサービスが提供できるよう努力していきます。